

□ アーバンデザインセンターすみだ活動促進事業



アーバンデザインセンターすみだ
URBAN DESIGN CENTER SUMIDA

東京23区で唯一大学のなかった墨田区では、積年の悲願であった大学誘致が実現し、文花地区に2つの大学が開学・開設した。これを契機に、公民学連携のプラットフォーム「UDCすみだ」を設立し、将来ビジョンの検討や都市空間のデザインマネジメントのハード面、まちづくりの担い手育成等のソフト面、双方のアプローチから、大学の知見を活用した地域課題の解決を目指す「大学のあるまちづくり」を推進する。

■ 概要

区市町村名	墨田区
まちづくりプロデューサー	アーバンデザインセンターすみだ (UDCすみだ)
行政の関わり	UDCすみだは、墨田区・千葉大学・iU 情報経営イノベーション専門職大学・区内関係団体で構成される公民学連携組織。墨田区が事務局を務め、「大学のあるまちづくり」を推進。
連携先	国立大学法人千葉大学 iU 情報経営イノベーション専門職大学
対象エリア	墨田区文花・京島地区 (文花一丁目のキャンパスエリアを拠点)

■ 本年度の取組内容

- ・エリアビジョンの策定・公表
- ・展示会、啓発動画の制作
- ・「アカデミックハウスプロジェクト」にて古民家イベントを実施 等



■ 本年度の成果

- ・UDCすみだ運営委員会 (月1回)
⇒シンボルプロジェクトである①ビジョン策定、②キャンパスコモン整備事業、③アカデミックハウスプロジェクトの進捗報告のほか、UDCすみだの啓発活動、大学の知見を活用した社会実験等について議論を行った。

- ・アカデミックハウスプロジェクト
⇒京島地区にある古民家をコミュニティ施設や学生の住まいとしてリノベーションする事業。建物オーナーによる改修を前提に、UDCすみだサポートする形で古民家を活用した子ども向けイベントを実施した。



- ・あずま百樹園・キャンパスコモン整備事業
⇒両大学間に位置する未利用公有地を、地域と大学の交流の場として「キャンパスコモン」と名づけ、整備した。令和5年3月にオープニングセレモニーを実施。イベントにて、エリアリノベーションを図るための展示を行った。

